

## 夏休み子ども科学研究室 「くだものの味をくらべよう！！」を開催

果樹研究センターでは、8月6日に小学生10名が参加して、「くだものの味をくらべよう！」と題し、夏休み子ども科学研究室を開催しました。日差しが非常に強く照りつける猛暑の中での開催となりましたが、子ども達は果物が育っている様子を真剣に見学し、にぎやかな雰囲気の中、「なつっこ」および「つきあかり」2品種のモモの収穫作業体験を行いました。体験では、子ども達が自分達で収穫したモモの重さを計測したり、職員の説明に耳を傾けたりしていました。

実験室では、果樹研究センターで育てたモモ、ナシ、リンゴ、ブドウなど様々な果物を試食して、実際に食べたときに舌で感じる「甘さ」や「すっぱさ」と、計測器で測った「糖度」や「酸度」を比べました。食べてみて感じる味と計測器の数値で見ると味の違いに驚きながら、果物の種類や品種、熟度による味の違いについて学びました。

参加した子ども達からは、「果物の収穫や食べ比べができたので楽しかった。」「果物によって色々な甘さがあるのは面白いと思った。」等の感想がありました。保護者の方からは、「家では十分に材料を準備できないので、美味しくいただきながら楽しく実験できた。参加できて良かった。」「子どもが果物にますます興味を持てたように思う。」との声がありました。



果物の試食と糖度や酸度の測定